

## あけましておめでとうございます

昨年は久しぶりの大型ホール“清水マリナート”が竣工・開館して大きな満足感を得ることができました。今年は大型施設の現場へ通う年になりますが、いずれも来年の竣工・開館を目指していますので特に今年後半は忙しくなりそうです。昨年、事務所の開設20周年を経て次の節目は30周年であると考えつつ、これまでの経験を財産にしながら、更に積極的に新しい施設づくりをサポートしたいと考えております。事務所の体力（体制）も少々強化できました。本年もどうぞよろしくお願い致します。

A. T. Network 代表 近江哲朗

## 東京・大手町“読売新聞新社屋”竣工まで1年

昨年秋に東京駅丸の内駅舎の保存復原が完了して丸の内側は新丸の内ビルディングやJPタワー（東京中央郵便局）などの改築と共に賑わいが増しつつあります。そんな中、読売新聞東京本社の新社屋も残すところあと1年の工期を経て竣工へと向かっています。

この新社屋ビルの4階～5階には段床式客席（501席）を有するホールと平土間イベントスペースが誕生します。オープン時期は来年春を予定しており、広く一般の利用者にも提供できる環境整備が進められています。

このような究極の都心部での仕事はなかなか経験できることではなく2012年秋にオープンした渋谷区の“文化総合センター大和田”以降首都圏での仕事が増えて、直に現場へ行くことが出来る環境にはとても利便性の良さを感じています。既に舞台技術者やホールサービスを担当する顔も見える状況を読売新聞で準備されたため、実際に運用を担う担当と一緒に建設現場で打合せ等が進んでゆくことは、安心感と共に私共にとってもとても良い経験になります。

建設現場は今年はピーク状態になりますが、運営支援という側面においても今年は大変な一年になります。読売新聞という企業のポテンシャル、メディアという情報源の豊かさを最大限活かした事業計画にも是非ご期待ください。

私共としても特に力が入るプロジェクトです、1年後のご報告を楽しみにお待ちしております。

写真-A.T.Network



## スタッフ便り

昨年位から、打合わせなどにタブレットを持ち込んでいる方を見かけます。新しい物をすぐに取り入れ活用されている方を見ると自分もと思いつつなかなか…などと思っていると、あるオペラで出演者にタブレットを持たせその機能を生かし演出されているのを知り、もうこんな所まで！と驚き、今年こそは！と考えています。（神戸）

## 事務所開設20周年の記録をまとめました

前号（第34号）でお知らせした事務所開設20周年の記録“20th”を昨年秋にやっとまとめ、印刷完了までに至りました。本来ならば8月1日の創立記念日に間に合うべきだったのですが、やはり遅れてしまいました。

極力多くの皆様へお届けしたつもりですが、もし失礼ながら「まだ届いていないよ！」という方がいらっしゃるようでしたら、どうぞ一報戴ければ幸いです。超特急にてお送りさせて頂きます。

事務所開設時の目標は年に1件の竣工を目指すとしていましたが、おかげさまで20件をはるかに上回る仕事に恵まれて、次の節目“30周年”に向けて一層質に拘った仕事に心がけようと考えております。

## 編集後記

50代後半ともなると、体に優しい生活が求められることはさまざまな体の部位で感じます。最近の編集後記ではこのような内容ばかりで恐縮ですが実感として強く感じます。万歩計もポケットに入っていて当たり前！できるだけ食生活にも気を使って、ほんの少しですがやっとその効果が見えるようになってきたような？気のせいかもしれません。（近江）

## 2013年のご案内・他

2013年業務開始 1月7日（土・日・祝祭日は休日）

今年も現場・打合せに出掛けることが多くなりそうです。事務所を留守にすることもあり、ご迷惑をおかけしますがどうぞご了承願います。